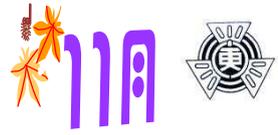


# 月にみがきて



更級小学校だより No. 8

H24. 11. 8

## 子どもが育つ「さらしなの里の縄文まつり」



過日の下校後、保護者が車にお子さんを乗せ、職員室前に車を止めました。二人のお子さんが忘れ物を取りに来たようでした。お母さんはお子さんと一緒に行かず、車の傍で待っておられました。二人のお子さんはそれぞれに忘れ物と思われるものを手に持ち、車に乗って帰られました。それだけのことなのですが、我が子が幼稚園の頃、あるお医者さんにかかった時、私が我が子を椅子にあげようとしたところ、お医者さんが「子どもができることをとっていけない。それでは子どもが育たない。」としかられたことがあります。

さて、縄文まつりでは、火起こしによる聖火着火式や立木倒し・川魚つかみなど子どもが滅多にできない経験をさせていただきました。花道隊列・奉納・礼拝の豊穰儀礼、聖火分配と学校全体で衣装を身につけ、その時代にタイムスリップができました。様々な係活動で、次々にみえるお客様と対応するAさん。Bさんは低学年に弓の引き方を教えています。Cさんがお客様にお茶をお渡しし、質問を受けそれに答えていました。吹き竿で肉が良く焼けるよう竪穴住居で頑張るDさん。火起こしのコーナーでは、「教えてください」に「は〜い」と答えるEさん、Dさんもどんどんやってくる1年生の子どもたちに教えます。係の5・6年生が低学年にやさしく教えてあげている姿が印象的、学校でこれだけのプログラムを用意することはとてもできません。高学年がこれだけ活躍できる他校にはない場を用意してもらっています。冒頭に書いた例のように子どもができることを子どもに任せていただけるのでこの行事はありがたい。もちろん遊ぶ方も十分楽しんだようです。「食べ物、すべて制覇したよ」「3匹も、魚を釣ったよ」と、うれしそうに話す姿もありました。4学年・縄文人クラブでは発表を終えると「おー」の声と拍手をいただき、子どもの笑顔に成就感があらわれていました。更級の宝である「縄文まつり」をこれからも大切にしていきたいと感じた一日でした。地域・保護者のみなさん、ありがとうございました。また、来年もお願いします。

# PTA作業でよりよい環境にさせていただきました



厚生部・常任の方々PTA作業をしてくださいました。また、おやじの会の呼びかけで、ガーデンクリエイトの太田さんのご指導のもと、機械まで借りてもらい多くの方のお力で前庭の木々を綺麗にしてもらいました。上の写真以外にも窓ガラスを綺麗にして頂き、子どもたちは快適な環境で学習できます。ありがとうございました。

## 長野県の活用型選択教員配置事業（「選択型こまやか教育プラン」）による先生のか配について

本年度は、平成 24 年度県の活用型選択教員配置事業（選択型こまやか教育プラン）として県で 46 億円をかけて子どもたちに行き届いた教育ができるように教員のか配をしています。実施にあたっては、次のような 1～4 の要領で行われています。

- 1 県教委は、児童生徒・学級数等に基づき算定した教員配置数を市町村へ配分します。
- 2 市町村教委は、学校現場の要望・教育課題に基づき、小・中学校に配分します。
- 3 小・中学校長は、配置事業の中から活用方法を選択します。
- 4 県教委は、市町村教委の内申に基づき、教員（常勤又は非常勤）を全額県負担で任用（配置）します。児童 1 人 1 人に応じたきめ細かな指導を行い、学習習慣の確立や基礎学力の定着を図るために長野県独自の施策として次の先生が本校にか配されています。

### （1） 1 年生には、学習習慣形成支援 1 名 が配置されています。

1 学級当たり 30 人を超える入学したばかりの 1 年生に担任とペアで先生を配置することにより、整列の仕方・鉛筆の持ち方などから国語・算数などの学問始まりの学習指導を行う学習習慣の形成を支援し、「ていねいに教えてもらってありがたい」とか「子どもたちが落ち着いて学習している」という声もあり、効果をあげています。

### （2） 3 年生には、少人数学習集団編制 1 名が配置されています。

1 学級 31 名以上の 3 年で、算数の学力向上を目指して、1 学級を 2 人の先生で指導したり、算数・理科の時間だけクラスを 1 つ増やしてより少人数にしたりして勉強しています。子どもの課題により丁寧に対応し、楽しく学習を進めながら学習内容を定着させています。

### （3） 4・6 年生には、30 人規模学級編制 2 名が配置されています。

4・6 年生は国の基準（1 学級上限 40 名）だと 4 年は 1 クラス 39 名になりますが、4 年 1 組 20 人、2 組 19 人。6 年は 1 クラス 37 人になりますが、6 年 1 組 19 人、2 組 18 人で勉強しています。人数が少ないので、教室内も広く、分からないこと等を先生に相談しやすい環境を整えています。

小学校では以上 4 名の県費加配の先生が子ども達のために働いています。もちろん市費の理科専科・学習支援の先生方 5 名も含め、職員全ての力を結集し、その子がその子らしく精一杯生きていけるように取り組んでいます。

## 更級小学校 140 周年記念事業 準備委員会がひらかれました

更級小学校は明治 6 年仮発足し、明治 7 年（1874 年）羽尾・須坂・若宮の 3 か村の学校鼎立（ていりつ）学校として発足して以来、平成 25 年（2013 年）で 140 周年を迎えます。昭和 39 年の 90 周年～平成 16 年の 130 周年まで、10 年周で定期的に周年事業が執り行われており、来年も例外に漏れず節目の年を、何らかの形でお祝いしたいと考えています。そこで、計画・運営の準備委員会を立ち上げ、委員長には塚田 PTA 会長になっていただき、過去や他校の事業内容を洗い出し、第 4 回常任委員会にて審議された事項を報告しました。予算・事業内容・140 周年運営計画の検討を続け、3 月の総役員会、4 月の PTA 総会で決定していただき 140 周年に向けて準備を進めております。

